

11,577

この数字、何か分かりますか。



福岡県の 不名誉な記録



1万1千577——これは、昨年度福岡県で殺処分された犬猫の数です。福岡県の犬猫の殺処分数は、平成17年度から20年度まで4年連続で日本一を記録。保健所などに持ち込まれる子猫の数が特に多く、県では昨年10月から、犬猫の引き取りを有料化するなどの対策を進めてきました。その結果、21年度の犬猫の殺処分数は20年度に比べて22%減少しましたが、ペットを手放すために保健所にやってくる人は、全国的に見るとやはり多い状況です。

捨てないで 小さな命



保健所が捕獲や引き取りをした犬猫は、6日が経過すると福岡県動物愛護センターに送られます。田川保健福祉事務所でも、昨年度は601頭(うち164頭は福智町)の犬猫がセンターに送られました。譲渡される数はごくわずか。大半が、その日のうちに命の灯火を消されることとなります。殺処分される犬猫のうち、約7割が子犬・子猫です。生まれてまもなく、死を目の前にする小さな命……。この不幸

不妊・去勢 手術のすすめ



犬は生後6〜9か月、猫は生後4〜12か月で子を産めるようになります。

一生飼えないなら 飼わないのも愛情。



言うまでもなく、動物を飼い始めたら最後まで面倒を見なければなりません。犬猫の平均寿命は約15年。ペットを飼うのに愛情はもちろん必要ですが、そのための住居環境や費用、時間や体力も必要です。「かわいい」だけではペットは飼えません。一生飼えないのであれば、飼わないことも動物への愛情ではないでしょうか。

福岡県田川保健福祉事務所
真鍋 修一 係長

田川保健福祉事務所保健衛生課生活衛生係長として「狂犬病予防員」「動物愛護推進員」を務める。

生涯愛情を そそいで



ペットを飼うということは、小さな子どもを育てるのと同じ。飼うからには苦労もあり、自分の子どもと同じように、毎日の世話や病気の看病、さまざまな治療を施す責任もあります。飼い始めたその日から、ペットの命は飼い主にゆだねられます。「こんなに大変とは思わなかった」「忙しくなった」「かわいくなかった」……人はいくらでも言い訳できますが、ペットは口をきくことも、飼い主を選ぶこともできません。無責任な飼い主のツケは、ペットがその命で払うことになるのです。

わたしたちにとって、かけがえないパートナーであるペット。会話こそできませんが、飼い主の愛情はきくと伝わり、返ってくるはず。どうかその命の大切さを感じ、生涯変わらぬ愛情をそそいであげてください。

特集●ペットと暮らす毎日(完)

子犬の飼い方教室の開催

散歩の時、リードを持つ飼い主を引く張る犬と、飼い主が立ち止まると一緒に止まる犬……。あなたの愛犬がそのどちらになるかは、子犬のうちの、しつけ方、次第です。

これから犬を飼おうと思っている人、最近子犬を飼い始めた人を対象に、福岡県動物愛護推進協議会主催の「子犬の飼い方教室」が開催されます。

子犬を飼うために必要なことや、しつけの基礎についての講習会、家庭犬のデモンストレーションなどが行われます。この機会に、犬の適正な飼育方法を学びましょう。なお、当日の犬の同伴はご遠慮ください。

日時 11月26日(金)
14時〜15時30分

場所 田川市清掃事務所
(田川市大字川宮1550)

参加費 無料

※事前申し込みが必要。

福岡県動物愛護推進協議会
田川支部事務所
☎42-93009

※写真は町内で飼われている犬猫です。本文内容とは関係ありません。